

日 程

第1日目 9月9日(月)

時 間	内 容
10:30	受 付
11:20	オープニングアトラクション
11:50	休 憩
12:00	開 会 式 開会のことば 主催者あいさつ 来賓祝辞 来賓・祝電紹介
12:45	休 憩
13:00	特別講演 テーマ「イギリスにおける精神疾患への早期介入」 ～私たち家族の回復への道のりから～ 講 師：デイビッド・シャイアーズ氏 統合失調症の娘をもつ精神科医
14:40	活動報告 テーマ「制度改革にみる家族の在り方と今後の課題」 講 師：川崎洋子氏 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長
15:10	休 憩
15:30	行政報告 厚生労働省
16:00	基調講演 テーマ「精神保健福祉の現在・過去・未来」 ～権利条約、制度改革の論議からみえてきたもの～ 講 師：藤井克徳氏 日本障害フォーラム（JDF）幹事会議長 内閣府障害者政策委員会委員長代理
17:20	終 了
18:00	懇 親 会 リーガロイヤルホテル「光琳の間」

第2日目 9月10日(火)

時 間	内 容
9:00	受 付
9:30	分 科 会 第1分科会 家族の力、家族会の力 ～経験と思いから生み出される活動の魅力と可能性～ 第2分科会 私たちが求める家族支援 ～「少し工夫すると実現できそうな家族支援」 から「さらに求めたい家族支援」まで～ 第3分科会 早期支援と教育 ～こころの健康を育むために～ 第4分科会 地域の暮らしを考える ～「豊かに生きる」を当たり前にするために～ 第5分科会 当事者活動 ～支え支えられ・お互いさま～ 第6分科会 就労を考える ～働く事はリハビリテーション!!～ 第7分科会 特別講演 菊山裕貴氏 テーマ「単一精神病論」 ～統合失調症と躁うつ病と 再発を繰り返すうつ病は同じ病気?～
11:30	休 憩 ・ 移 動
11:45	閉会式 分科会報告 大会宣言 次期開催地挨拶 石川県 閉会のあいさつ

全体会 9月9日(月)

オープニングアトラクション

11:20～11:50

横島若騎氏によるピアノ演奏

「第4回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)精神障害者部門」受賞

統合失調症の日本で唯一のプロのピアニストそしてバストロンボーンおよびリュート奏者としての活動が認められました。

開会式

12:00～12:45

開会のことば

主催者あいさつ

来賓祝辞

来賓・祝電紹介

特別講演

13:00～14:40

「イギリスにおける精神疾患への早期介入」

～私たち家族の回復への道のりから～

講師：デイビッド・シャイアーズ氏

【略歴】

開業医 (1980～2002)

英国精神保健初期介入施策にかかわる (2004～2010)

英国統合失調症監査会臨床顧問 (2010～現在)

国立保健および社会的ケア研究所における統合失調症のある人へのガイドランス部門委員 (2011～現在)

私は精神科医、妻は看護師として活動しています。私たちの娘メアリーは統合失調症にかかり、急性期における6ヶ月間の辛い入院の後、リハビリテーション施設に2年間入所しました。この期間は彼女にとって何ら治療や回復に向かうものではなく、私たち夫婦には失望以外の何ものでもありませんでした。このことが私に国家早期支援開発プログラムに関わるきっかけとなり、現在ではこのプログラムは世界に認められ、世界精神保健早期支援宣言を掲げるに至っており、娘メアリーは今では支援を得て地域社会で暮らしています。この早期支援開発プログラムについてお話します。

活動報告

14:40～15:10

「制度改革にみる家族の在り方と今後の課題」

講師：川崎洋子氏

公益社団法人 全国精神保健福祉会理事長

平成22年からはじまった障がい者制度改革で、私たち家族会が訴え続けたことは、精神障がい者とその家族に対して、他障害者との制度上の格差を無くし、精神障がい者への社会の偏見を取り除くことでした。「精神保健福祉法」改正では、他障害にはない保護者制度の廃止を要望し、「障害者雇用促進法」改正では、いままで身体と知的障害者だけを対象としていた雇用義務を精神障がい者にも適用することを改正案に盛り込みました。これらは私たちの状況を変える第一歩です。これから私たちに真に必要なサービスが受けられるような地域での仕組みが必要で、そのための活動を皆様と共に続けたいと思います。

行政報告

15:30～16:00

厚生労働省**基調講演**

16:00～17:20

**「精神保健福祉の現在・過去・未来」
～権利条約、制度改革の論議からみえてきたもの～**

講師：藤井克徳氏

日本障害フォーラム(JDF)幹事会議長

内閣府障害者政策委員会委員長代理

他の国と比べて、他の障害と比べて、同年齢の市民の暮らしぶり比べて、精神面に障害のある人の状態は依然として立ち遅れています。そんな中で、新たな時代の到来を予感させる動きが芽生えています。これを象徴するものとして、国連での障害者権利条約の制定や国内における障がい者制度改革推進会議（現在は障害者政策委員会）などがあげられます。問題は、これらの動きが精神障害分野の好転にどう影響するかですが、結論から言えばそれほど甘くはありません。好機を確実に生かしていくために、家族会はどうあるべきか、そして私たち一人ひとりに問われるものは…。

分科会 9月10日(火) 9:30~11:30

第1分科会

家族の力、家族会の力

～経験と思いから生み出される活動の魅力と可能性～

「家族（会）だからできること・家族（会）にしかできないこと」。それが、固有性に富む活動だといえます。家族は、支援を一方的に受ける存在ではなく、自分及び自分たちの経験や、これまでの思いを通して、多様な活動を展開しています。その活動の源にあるのは、「我がことのように」という、同じ家族としての仲間意識です。なかでも、家族のニーズを考えたいうでの、創意と工夫をした取り組みは、家族会活動の求心力にもなります。

そのような考えのもと、分科会1では、多様な取り組みをしている3つの家族会の取り組みを紹介します。そして、家族・家族会が活動することの魅力と可能性について、みんなで考えあい、参加される方々に元気になっていただければと願っています。

コーディネーター : 青木 聖久 日本福祉大学 教授
 問題提起者 : 河上 紀子 兵庫県精神福祉家族会連合会
 川辺 慶子 家族SST交流会（大阪府）
 堀場 洋二 名古屋市精神障害者家族会連合会
 司 会 : 小椋 芳子 大阪府精神障害者家族会連合会相談役

第2分科会

私たちが求める家族支援

～「少し工夫すると実現できそうな家族支援」から「さらに求めたい家族支援」まで～

家族はどんな支援を求めているのでしょうか。家族は、支援者のどういう言動に傷つき、どういう支援に励まされているのでしょうか。そして、さらにどのような支援があれば少しは前向きになれるのでしょうか…。この分科会では、実は支援者の前ではなかなか言えない「家族の本音」をもとに、精神に「障がい」のある人とその家族が求めている支援を、まずは「少し工夫すると実現できそうな家族支援」と「さらに求めたい家族支援」という観点から、「私たちの求める家族支援」を考えていこうと思います。

コーディネーター : 佐藤 純 京都ノートルダム女子大学 准教授
 問題提起者 : 岡田 久実子 さいたま市精神障がい者もくせい家族会
 静 津由子 京都精神保健福祉推進家族会連合会
 木村 瑛子 大阪府精神障害者家族会連合会
 司 会 : 大島 信雄 和歌山県精神保健福祉家族会連合会元会長

第3分科会

早期支援と教育

～こころの健康を育むために～

第3分科会のテーマである『早期支援と教育』は、みんなねっとの大会で初めて取り上げられたテーマです。「思春期の危機」という言葉にみられるように、思春期は身体的・心理的・社会的な変化がみられ、様々なバランスが崩れやすい時期にあります。しかし、学校教育において、「こころの健康」や「こころの健康」のバランスを崩した時の知識や対処方法、「こころの病気」について学ぶ機会はほとんどありません。そこで、本分科会では、学校教育における「こころの健康」教育やそのバランスを崩した時の早期支援に関して、保護者の立場、支援者の立場、教育者の立場から、各々の思いや取り組みを紹介して頂きます。皆様のご経験から、学校教育に必要とされる支援や教育について考えてみましょう。

コーディネーター	：	栄 セツコ	桃山学院大学 教授
問題提起者	：	前川 早苗	三重県立こころの医療センター ユース・メンタルサポートセンターMIE
	：	松永 貴久美	特定非営利活動法人こころ・あんしんLight（兵庫県）
	：	正岡 茂明	元兵庫県立高等学校校長
司 会	：	仲田 昭七	奈良県精神障害者家族会連合会会長

第4分科会

地域の暮らしを考える

～「豊かに生きる」を当たり前にするために～

地域で暮らすとは、ただ入院していない状態を指すのではありません。地域社会の中で、年齢に応じたさまざまな体験をしながら、いろいろな人と出会い、自分らしい暮らしを展開することです。障害があってもその人らしく生活するために、支える側は何を大切にすべきか、どう生活を捉えるのか、共に考える分科会にしたいと思います。「入院生活よりはマシ」ではなく、精神障害者であっても豊かに生きるということが当たり前になることを願い、「とことん寄り添う支援を創る」「支援のネットワークを創る」「スポーツを通して豊かな暮らしを創る」という視点から、興味深い実践報告をご用意しました。ご期待ください。

コーディネーター	：	三田 優子	大阪府立大学 准教授
問題提起者	：	菅野 治子	社会福祉法人朋志美会しののめハウス（大阪府）
	：	河野 和永	NPO法人陽だまりの会（大阪府）
	：	藤本 綾子	麦の郷紀の川・岩出生活支援センター（和歌山県）
	：	真庭 大典	新阿武山病院（大阪府）
司 会	：	野地 芳雄	京都精神保健福祉推進家族会連合会会長

第5分科会

当事者活動

～支え支えられ・お互いさま～

「あなた、支える人」、「私、支えられる人」。精神障害を抱える本人とその家族は専門職と当事者との間に生じる、そんな一方的な関係を覆してきました。当事者同士の「あなたと私」の共通する体験が接着剤となって、あなたと私がつながります。精神障害を抱えて生きる暮らしにくさ、その中で見出す生きる喜びなどの語りから生まれる相互の支え合いは、お互いさま旋風を巻き起こしてきました。本日はそんな人たちの体験談に耳を傾けます。

コーディネーター : 中田 智恵海 佛教大学 教授
 問題提起者 : 湊 高広、理恵 (京都府)
 渡口 泰子 ドリームファクトリー (兵庫県)
 谷口 弘樹 出前はあと (大阪府)
 話題提供者 : 岩田 豊子 うつ病のセルフヘルプグループ「曇りのち晴れ」(兵庫県)
 司 会 : 本條 義和 兵庫県精神福祉家族会連合会会長

第6分科会

就労を考える

～働く事はリハビリテーション!!～

人生の主人公として一度きりの人生を威風堂々と歩んでいただきたい。
 平成25年4月より障害者の法定雇用率が2.0%に、そして精神障害者の雇用義務化も決定される中、多くの精神障害のある人たちが、病気を開示して企業で戦力として働いている。
 働くまでの困難、働いてからの苦労や喜びなどから社会における自身の存在価値を感じ、それが自信になり自らの人生を自らの足で歩まれている当事者の赤裸々な語りは、当事者や家族の方に勇気と希望を与えることになると思います。
 また、就労支援者からは就労への道のり、継続就労への支援について実際の現場での話をお聞きしたいと
 思います。

コーディネーター : 金塚 たかし JSN門真 統括所長 (大阪府)
 問題提起者 : 目良 賢治 NPO法人Flat・きた (大阪府)
 田井 みゆき NPO法人ノンラベル (京都府)
 司 会 : 尾畑 聡英 滋賀県精神障害者家族会連合会理事長

第7分科会 特別講演

「単一精神病論」

～統合失調症と躁うつ病と再発を繰り返すうつ病は同じ病気？～

統合失調症と躁うつ病と再発を繰り返すうつ病は同じ遺伝子多型が関与し、抗精神病薬もMood stabilizersも抗うつ薬も同じ神経保護作用を持つことが示されている。精神病は強迫性障害や不安障害を併発することが多いが、強迫性障害や不安障害に使用される薬剤は抗うつ薬である。これらは本当に違う病気なのだろうか、NIRSにより疾患鑑別が可能ないように思われているが本当に鑑別可能なのだろうか。

講師：菊山裕貴氏

大阪医科大学神経精神医学教室

大阪精神医学研究所 新阿武山病院 医師

司 会 ： 藤井 明人 大阪府精神障害者家族会連合会理事

後援団体(予定・順不同)

後援団体・全国

内閣府
厚生労働省
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
全国精神保健福祉センター長会
全国保健所長会
特定非営利活動法人 全国精神障害者団体連合会
公益社団法人 日本てんかん協会
社団法人 日本自閉症協会
公益社団法人 全日本断酒連盟
社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
公益社団法人 日本精神保健福祉連盟
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
公益財団法人 日本精神衛生会
公益社団法人 日本精神科病院協会
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会
NPO法人 全国精神障害者地域生活支援協議会
きょうされん
社団法人 日本社会福祉士会
全国精神保健福祉相談員会
社団法人 日本精神科看護技術協会
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会
NPO法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会
一般社団法人 日本作業療法士協会
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 読売光と愛の事業団
社会福祉法人 中央共同募金会
財団法人 日本チャリティ協会
公益財団法人 明治安田こころの健康財団
精神科臨床薬学研究会

後援団体・府内

大阪府
大阪市
堺市
大阪府教育委員会(第3分科会のみ)
大阪府社会福祉協議会
大阪府医師会
大阪精神科病院協会
大阪精神科診療所協会
大阪府歯科医師会
大阪府薬剤師会
大阪府病院薬剤師会
大阪社会福祉士会
大阪精神保健福祉士協会
大阪府看護協会
日本精神科看護技術協会大阪支部
大阪府作業療法士会
大阪精神保健福祉協議会
精神障害者社会復帰促進協会

大阪精神障害者連絡会
大阪障害フォーラム(ODF)
大阪府身体障害者福祉協会
大阪府視覚障害者福祉協会
大阪聴力障害者協会
障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会
大阪手をつなぐ育成会
大阪府肢体不自由者協会
大阪脊髄損傷者協会
障害児(者)を守る全大阪連絡協議会
日本てんかん協会大阪府支部
日本喉摘者団体連合会
日本筋ジストロフィー協会
大阪府断酒会
大阪府自閉症協会
大阪障害者自立支援協会
きょうされん大阪支部
日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)
全大阪労働組合総連合(大阪労連)
読売新聞社大阪本社
産経新聞大阪本社
毎日新聞大阪本社